

関西美容専門学校

2021年4月 ～ 2022年3月
自己評価結果報告書

評価点数定義

4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

1.教育理念・目標

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	学園理念である「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」を體現すべく、「人間力」「基本力」「創造力」「感動力」をコンセプトとし、カリキュラム・授業内容を組み立てている。	コロナの影響によって社会全体の経済が停滞していたが、通常の社会活動に戻ろうとしている。 学校の行事・イベント等も中止・延期が続き学生同士の交流や技術交換、関美学園としての文化の継承に問題が出てきていたが、来年度以降、行事・イベントもできるだけ内容や時期の調整含め、感染症対策しながら行う事を前提に進めていく。 また、今後の社会のDX化、小中学校から始まっているGIGAスクール構想が進むにつれ、専門学校も対応が必至となるため、その対応も今後の課題とする。
2	学校における職業教育の特色は何か	4	特色としては、日本美容界の巨匠である川島文夫氏を顧問とし、基礎基本を土台とした現場に即したカット技術を取り入れ「カットの関美」と呼ばれる学校になる等、選ばれる学校づくりを行っている。	
3	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3	将来構想としては、少子高齢化、美容室の増加と美容学生の減少からくる雇用難を踏まえ、国家資格取得に必要な技術は基本として、常に現場で求められる技術、心を学生に教育、就職のサポートができるよう、全国の企業・サロンと連携し変化し続ける学校であり続けようとしている。 2020、2021年と、特にコロナ禍で授業のオンライン化が進められ、4月の第4波では長期間のオンライン授業を余儀なくされた。その後は政府の方針でも極力対面を維持する事を推奨とされ、学生にアンケート等を取り意見を汲み上げ判断した結果、感染症対策を行いながら、感染者がクラスで複数出た場合、学級閉鎖などを適時行い対応した。 オンライン授業に対してのアンケートは昨年同様、概ね好印象で、実技・学科問わず、教員側としてもオンラインの方が効率が良い部分も見受けられたため、コロナに関係なくオンラインの方が効果が見受けられる授業や、海外で活躍する卒業生や講師のセミナーなどは積極的に今後も利用したい。 学生の発信力や主体性をnext KANBIでは、参加する学生数も増え、特に今年度はオリジナルカリキュラムの提案や理想のサロン発表は斬新なものや学生ならではのアイデアが多く、採用企画が多かった。 また選択科目に関しても、学生の要望やサロンで活かせる技術に対応するように、内容を刷新・改善をした。	

2. 学校運営

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	目的に沿った運営方針が策定されているか	4	運営方針・事業計画は校長がこれを作成し、全体会議等で周知徹底している。学校運営組織は、校長をトップに副校長、教務部がこれを補佐する形で運営されている。人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。 1月以降、あらたに小学校・幼稚園、保育所などの休園などでの、特別休暇制度を整備した。	特になし
2	運営方針に沿った、事業計画が策定されているか	4		
3	運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか	4		
4	人事、給与に関する規定などは整備されているか	4		
5	教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4		
6	教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	4		

3.教育活動

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針などが作成されているか	4	「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」という教育理念のもと、すべての教職員の意識統一がなされている。美容師免許取得は当然の事とし、社会に出て即、役に立つ人材の育成に努めている。	今年度4月からオンライン授業を行ってきたことで教職員も授業のやり方にも慣れてきた。学生全員が技術であれば手元をより近くで見れたり、学科であれば見返しが出来たりとオンラインの良いところを活かしてカリキュラムに反映するようにできている。 昨年度同様に外部関係者からの評価の部分では、関係者評価をさせていただき意見、評価を取り入れることができている。
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
4	美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4		
5	美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4		
6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	授業評価については学生にアンケートを実地しており内容によっては見直しを行い教職員の意識向上、学生の満足度向上に努めている。	
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか	4	外部関係者からの意見は柔軟に取り入れ、その都度検討し必要と判断する内容などは採用するようにしている。	
8	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4	成績評価については3学期制をとっており、学期ごとに試験を行い各教科・科目の評価、欠席日数管理をし、進級・卒業判定は明確に定めている。	
9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4	美容師国家資格取得は全学生の当然の目標である。その他、各資格については希望者対象に選択科目や検定対策を行い全員合格を目指している。	
10	人財育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	常勤講師についてはキャリアが多彩で本校のカリキュラムに適した能力を備えた人材を確保しており、その他非常勤講師においても技術や学科のさまざまな各専門分野のプロの講師を採用している。	
11	美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	4	教職員の指導力や能力開発のための研修会や講習は定期的に実地している。	
12	職員の能力開発のための研修は行われているか	4		

4.学習成果

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	就職率の向上はなされているか	4	就職希望者の就職率はほぼ100%に近い。基本的には学生主体の就職活動である。就職担当や各担当が面談を行い、個人単位で把握し、内定までを丁寧にサポートしている。コロナ禍での就職活動となったが、就職率は98%と例年と変わらずほぼ全員の学生に内定をいただいた。	美容師資格については今年も学科試験を落とす学生が多かった。昨年度よりもさらに早めの対策をとって全員合格を目指したい。 退学者においてはMTGを行い様々な意見を出して対応の幅を広げることができている。学生との話し合いで退学を考え直す者もあり、退学者は減った。
2	美容師資格の取得はなされているか	3	美容師国家資格においても毎年90%を超える高い合格率である。国家試験前には対策授業を行い100%に向けて指導方法の見直しを常に行っている。	
3	その他美容関連の資格取得はなされているか	4	その他の美容関連の資格については希望者対象に対策授業を行っている。	
4	退学率の低減が図られているか	3	退学率の低減については担任が各学生の事を把握し、教職員の間でも連携をとって共有を細かく行っている。また欠席など問題点があれば学生、保護者と連絡をとり解決を図っている。今年度はMTGを行い、様々な意見を出して対応の幅を広げることができた。学生との話し合いで退学を考え直す者もあり、退学者は減った。	
5	卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	4	卒業生とのつながりは深く、同窓会や各行事などに呼びかけ常に把握に努めている。またキャリアマップシステムを使い学校からの情報を速やかに共有していけるようにすすめている。今年度はコロナの影響もあり同窓会や芸術祭などの行事もできず卒業生に関わる機会が減った。	
6	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3		

5. 学生支援

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	就職部が主となり1年生のうちから就職にむけての授業などをとりいれ、2年に進級後は各担任との面談を行い個人の進路について指導している。個人個人の相談に関しては各クラスの担任や学年主任だけではなく教職員全員で適宜うけている。	健康管理の面においては発熱や体調不良などがあれば必ず連絡をもらい早期に対処している。 今年度は例年に増して心の悩みを訴える学生が多くみられた。新年度新たに心理カウンセラーと契約し、学生の心の悩みの軽減を目指す。 入学生の9割強が新卒生のため、社会人対象の入試や制度等は特別設けておらず、社会人のニーズを踏まえた教育環境は未熟なところがある。しかし社会人、新卒生平等に受け入れをしており、教育も等しくしている。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4		
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	経済的支援体制については日本学生支援機構奨学金制度、国の教育ローン制度のほかに、本校独自の学費免除特待生制度も設けており支援を実施している。一人暮らしの学生に対しての支援も奨学金機構からの支援があり新たに行った。	
4	学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3	健康管理については年一回の健康診断を行っている。	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	本校の課外活動とは外部のコンテストなどが主であり、技術指導や引率等の支援体制は充実している。本年度はコロナの影響で外部のコンテストはオンラインのもの、フォトコンテスト以外は中止。また、レクリエーションは延期、体育祭は中止とした。	
6	学生の生活環境への支援体制はあるか	3	生活環境の支援については提携している不動産会社より学生マンションの紹介を行い遠方の学生の支援体制としている。	
7	保護者と適切に連携しているか	4	保護者には学期末成績表の送付をはじめ、年間行事予定表などの案内をその都度通知している。また、欠席が目立って多いなどの場合、保護者との面談を行っている。また今年度より保護者対象の緊急メールを新しく導入し、スピード感のある対応ができた。	
8	卒業への支援体制はあるか	4	卒業に向けての単位取得、校内実技試験、校内筆記試験において不足が認められた場合は補習という形をとり、補い、卒業に向けて対応している。	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	9割以上の学生が高校新卒生のため、社会人に対しての特別な環境や制度は設けていないが、社会人、新卒生等しくを教育を受ける事が出来る。	

6.教育環境

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3	施設・設備は学習環境に影響がないように学生や教員の意見を取り入れ、整備をしている。	昨年度に引き続き、学生の美容に対する意識・意欲向上や学生間のコミュニケーションのために、学校外での研修や実習、イベント等を感染症対策等、リスク回避しながら行うかが今後の課題と言える。
2	学校外の実務実習、インターンシップ、海外研修などの実施の体制は整備されているか	2	学外研修サロンでの実務実習を恒常的に行い、コンテスト等にも意欲的に参加し結果を残している。 例年行っている関西コレクションの参加や海外研修はコロナの影響で中止となったが、研修サロンでの実習は授業回数減ってしまったが通常通りの実施となった。 インターンシップ等は教育内容の平均化を鑑み取り入れていない。	
3	防災に対する体制は整備されているか	3	避難経路の確認等を行った。	

7.学生募集

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	学生募集活動は適正に行われているか	3	入学案内書及び募集要項を毎年作成し、月2回はオープンキャンパスを開催し募集を行っている。 遠方の参加者のためオンラインオープンキャンパス等を月2回程行っている。	学校理念・コンセプト・教育成果などを積極的に伝えており、大半の学生が入学後のアンケートでもギャップを感じていない。また今年度は特に学期末のアンケート結果が良く、ほぼ全ての学生が満足している結果となった。
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	3	HPでの紹介、オープンキャンパス等での学校説明により、教育成果を正確に伝えるよう努めている。また、高校生自身が主体的に自分で考え選んで進路を決定できるよう声かけ等、徹底させている。	ただ、昨年度からオンライン入試を導入したが、オンラインオープンキャンパスからオンライン入試を受け、一度も来校していない学生が入学している事が稀に存在し、十分に学校について伝っていないまま出願し、合格。入学してからイメージとのギャップを感じ退学になるケースがごく僅かだがある。
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	3	入学選考はAO入試・推薦入試、一般入試を行い、面談官に対してはアドミッションポリシーの共有や、採点ポイント等の共有などを毎年行ってい適正・公平を保っている。 オンライン面談を引き続き実施している。	コロナ禍で美容師資格の人気の全国的に上がった影響や、関西の美容学校のマーケット特性から去年・今年と非常に良い募集状況となったが、来年度以降コロナ禍が落ち着くと状況が変わる事が予測されるので、変化に対応する必要がある。
4	学納金は妥当なものになっているか	4	学費は妥当なものと考えている。また、募集要項に記載されている学費以外は極力かからないようにしている。	

8. 財務

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4	監査法人による監査を適正に実施している。	特になし
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4		
3	財務に関する会計監査は適正に行われているか	4		
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4		

9. 法令などの遵守

1	評価項目	採点	現状	課題・改善案
2	法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4	美容師法、専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている。個人情報に対しては、充分に注意し、教職員はもちろん学生にも指導している。	昨年度自己評価、関係者評価の公表を行い引き続き公表を続けると共にすべてではないが昨年挙げられた問題点に対して改善に取り組んだ。
3	個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4		
4	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3		
5	自己評価を公開しているか	4		

10. 国際交流

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	留学生の受け入れ派遣について戦略を持っているか	1	留学生の受け入れや派遣は、現在特区政策が進められているが、特区以外は美容師としての就職先が安定されないため意欲的に実施していない。	1月に文科省から、「日本人学生の1年未満の海外留学について」の周知があり、条件付きではあるが留学を控えるような指示が無くなった。7月末に延期になっている校費留学に関して、検討をする。
2	学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	2	1985年以降30年フランス国立のリセ・エルザ・ルモニエと姉妹校提携しており、学園として交流を行い、国を超えた取り組みを行っている。また、イギリスサスーンアカデミーへの校費留学でのディプロマの取得を行っている。しかし、引き続き今年度も校費留学が延期されたため、行っていない。	